

第1期「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
重要業績評価指標(KPI)実績値及び評価一覧表

令和2年3月

氷見市

第1期「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重要業績評価指標（KPI）実績値及び評価一覧表

* 達成状況の算定について

$$\left[\frac{\text{基準値 (H30時点)} - \text{初期値}}{\text{目標値} - \text{初期値}} \right]$$

* 達成状況の評価について

○・・・現状で目標を上回ったもの
△・・・現状で目標に対する進捗率が50%未満のもの

○・・・現状で目標に対する進捗率が50%以上のもの
×・・・現状で改善が見られないもの

	重点施策	KPI	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)				
重点施策	1 市内消費拡大推進策	市内消費率 (市民アンケート)	26.3%	20.3%	20.6%	21.7%	25.8%	○	➡	●重点施策については、着実に事業が実施され、一定の成果が得られつつあるものの、市全体としてのしごとづくりにつながったとは言い難い状況にあることから、施策の内容について再度検討する必要がある。	
	2 市内産品一括販売体制の構築	地域商社による一括販売体制機能での売上額	28,000千円			911千円	4,669千円	△	➡		
	3 観光客の消費拡大施策推進	観光消費単価（日帰り客）	5,122円			4,972円	5,804円	◎	➡		
観光消費単価（宿泊客）		17,044円			16,794円	17,183円	◎	➡			
基本目標Ⅰ（安定した雇用を創出する）	施策	KPI・指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)				
1. 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かしたビジネス化の実施											
	①「食文化×女性の感性」による新産業創出	食文化×女性の創業支援数	累計12件	2件	2件	4件	1件	○	➡	●合計15の施策のうち、多少なりとも成果が上がっているものは8つ、残りの7つは成果が全く見られない、若しくは取り組み自体がなされていない。 ●特に取り組みがなされなかった施策については、施策自体の優先度、実施方法について再度整理する必要がある。	
	②氷見産品を加工した製品開発と販売網拡充	氷見産品を加工した製品開発件数	累計36件	3件	5件	17件	10件	○	➡		
	③地域の強み（一次産業、宿泊業）を核とした新業態の形成	宿泊施設独自の体験プログラムや献立・お土産を核としたプラン数	累計12件	0件	0件	0件	0件	×	➡		
	④地域の困りごとのビジネス化支援	地域の困りごとのビジネス化件数	累計12件	0件	0件	0件	0件	×	➡		
	⑤IT関連の創業・企業におけるIT利用の促進	IT関連の事業の増加件数	各年度2件	0件	0件	0件	0件	×	➡		
	⑥副業者の増加による地場産業の多様化	副業(小さな創業)の支援数	累計24件	0件	2件	21件	83件	◎	➡		
2. 氷見市内での資金循環の維持・加速											
	①大規模工場・大企業の雇用の維持・増加	市内の大規模工場・大企業の雇用者数	各年度H27超973人超	973人	926人	892人	985人	◎	➡	●特に若年層にとって魅力的なしごとを増やすことを目指して各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言い難い。	
	②既存商店・会社の事業承継の支援	事業承継実施件数	各年度5件	0件	0件	0件	0件	×	➡		
	③コミュニティビジネスの創業支援	コミュニティビジネス創業件数	累計12件15件協力隊	0件	1件	2件	1件	△	➡		
	④市内異業種の連携	異業種交流事業を経て生じた連携の件数	累計10件	-	-	-	1件	△	➡		
	⑤地域内消費（地産地消など）の促進	地域内の産品を積極的に買っていると回答した消費者の割合	最終年度26.3%超	20.3%	20.6%	21.7%	25.8%	○	➡		
3. 子育てと両立する創業・雇用の創出											
	①育児を行う女性が就業・創業準備時間を確保するための機会や施設の提供	市内の事業所内保育所の数	各年度H27超3箇所超	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	○	➡	●特に若年層にとって魅力的なしごとを増やすことを目指して各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言い難い。	
	②職場と子育て支援施設の連携	保育所・こども園の延長保育の実施割合	最終年度100%	80%	80%	80%	80%	○	➡		
	③柔軟な時間選択による多様な働き方の増加	フレックスタイム導入企業数	最終年度H27超	-	-	-	4企業	◎	➡		
	④在宅ワーク（テレワーク、クラウドソーシング等）の普及	テレワーク利用者数	最終年度H27超	0人	0人	0人	0人	×	➡		
15の観点	成果指標	指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)				
		①氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす	高卒新卒者の市内民間企業への就職率	43.2%	18.2%	29.5%	17.5%	32.5%	△	➡	●特に若年層にとって魅力的なしごとを増やすことを目指して各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言い難い。
		③氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす	仕事で理由での20代の転入者数(補正後)	189人	-	172人	158人	149人	×	➡	
		⑤（他地域に通勤する方の転居を減らすために）氷見市に子育てと両立する仕事を増やす	仕事で理由での転出者数(補正後)	-410人	-	-416人	-399人	-518人	×	➡	
	⑩20～40代のI・Jターン者が就きたい仕事を増やす	仕事で理由で転入した20～40代の氷見市出身者以外の数(補正後)	258人	-	250人	193人	155人	×	➡		

*達成状況の評価について
 ◎・・・現状で目標を上回ったもの
 ○・・・現状で目標に対する進捗率が50%以上のもの
 △・・・現状で目標に対する進捗率が50%未満のもの
 ×・・・現状で改善が見られないもの

	重点施策	KPI	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)			
重点施策	1 ぶり奨学プログラム推進	ぶり奨学プログラムに新たに登録した人数	90人	-	65人	60人	41人	△		●重点とされた施策については、着実に事業が実施され、一定の成果が得られつつあるものの、市全体として人口の社会減が抑制されたとは言えない状況にあることから、施策の内容について再度検討する必要がある
	2 移住定住促進事業推進	氷見市IJU応援センターを通して、氷見市に移住した人数	35人	-	11人	18人	25人	○		
		空き家情報バンクに新規登録された物件数	20棟	-	10棟	21棟	38棟	◎		
	施策	KPI・指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)			
基本目標Ⅱ (新しい人の流れをつくる)	1. 様々な世代の氷見出身者の還流（ふるさと氷見での人材の定着）									
	①氷見市の郷土愛育成	氷見市に愛着を感じている人の割合	各年度 H27超 42.2%	42.2%	35.0%	41.6%	43.2%	◎		●移住定住促進事業等、移住希望者等に直接働きかける事業を行った。 ●各施策毎に見れば、進捗幅は少ないものもみられるが、一定の成果が得られている。 ●ただし、市全体として人口の社会減が抑制されたとは言えない状況にあることから、施策の内容について再度検討する必要がある。
	②親子での氷見への転入促進・転出防止の支援	ふるさと定住促進制度の利用者数（子育て世帯）	各年度 20人	-	39人	87人	64人	◎		
	③氷見出身者の就学・活躍とUターンの支援（20代等）	ふるさと定住促進制度の利用者数（氷見市出身者）	各年度 65人	-	23人	42人	24人	△		
	④若い女性のUターンの支援	ふるさと定住促進制度の利用者数（氷見市出身20代女性）	各年度 30人	-	13人	13人	8人	△		
	⑤定年後のUターンの支援	定年後世代の移住体験申込者数	各年度 20人	-	4人	8人	10人	△		
	2. 「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現									
	①20～40代の転入者が氷見に来やすく、なじみやすい体制の整備	20～40代の移住体験申込者数	各年度 100人	-	62人	74人	47人	△		●UIJターン者の増加を目指し、各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言えない。
	②氷見に住居を構え他地域に通勤する移住者への支援	ふるさと定住促進制度の利用者数（IJターン者）	各年度 20人	-	15人	36人	16人	○		
	③大都市居住者に氷見での生活の価値を伝える活動推進	氷見市のブランドランキング(地域ブランド調査)順位	最終年度 H27超 210位	210位	195位	264位	177位	◎		
	④クリエイティブ人材の移住・定住の支援	ふるさと定住促進制度の利用者数（クリエイティブ人材）	各年度 5人	0人	0人	0人	0人	×		
	⑤「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現	氷見版CCRC受入者数	各年度 5人	0人	0人	0人	0人	×		
	3. 氷見ならではの魅力・強みを生かした交流の実現									
	①日本の魚食文化を牽引する施策の展開	海産物を食べる目的での訪問者数	最終年度 H27超 232,616人	232,616人	221,700人	214,200人	202,200人	×		●UIJターン者の増加を目指し、各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言えない。
	②未来を共創できるまちづくりの推進	リノベーション施設来訪者数	最終年度 H27超 2,502人	2,502人	819人	183人	212人	×		
③スポーツ・文化等による人口交流増加	基幹スポーツ施設利用者数	-	378,602人	364,904人	363,698人	359,064人	-			
	成果指標	指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)			
15の観点	②20代のUターンを増やす	20代×氷見市出身者の転入数（補正後）	131人	-	114人	90人	113人	×		●UIJターン者の増加を目指し、各種施策に取り組んできたものの、十分な効果が現れたとは言えない。
	④氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす	氷見市出身者のうち、仕事で高岡市に転出する数（補正後）	-41人	-	-46人	-17人	-35人	◎		
	⑦定年後のUターンを増やす	60代×氷見市出身者の転入数（補正後）	12人	-	9人	15人	17人	◎		
	⑨20～40代のI・Jターン者を増やす	20～40代の氷見市出身以外の転入数（補正後）	382人	-	374人	318人	280人	×		
	⑪他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす	仕事で高岡市から転入する数（補正後）	34人	-	33人	31人	25人	×		
	⑫定年後のI・Jターンを増やす	60代×氷見市出身以外の転入数（補正後）	12人	-	12人	13人	5人	×		
	⑮未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす	0～6歳の子供の転入数	90人	-	74人	65人	53人	×		

*達成状況の評価について

◎・・・現状で目標を上回ったもの

△・・・現状で目標に対する進捗率が50%未満のもの

○・・・現状で目標に対する進捗率が50%以上のもの

×・・・現状で改善が見られないもの

	重点施策	KPI	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)			
重点施策	1 結婚の希望をかなえる	おせっかいさんによるひみ婚会員引き合わせ数	100人		26人	54人	44人	△	↓	●重点施策については、着実に事業が実施され、一定の成果が得られつつあるものの、市全体として人口の自然減が抑制されたとは言い難い状況にあることから、施策の内容について再度検討する必要がある。
	2 切れ目ない支援	出産前後の相談件数	577件	577件	566件	522件	675件	◎	↑	
	3 子育てが楽しいと感じている子育て世代の割合（市民アンケート）	市民アンケート調査の結果、「子育てが楽しいと思いますか」という設問に対し、当てはまると回答した人の割合	41.6%	41.6%	38.4%	38.6%	34.1%	×	↓	
	4 教育の質的向上	小6国語Aの平均点	74.0	73.4	74.6	76.0	74.0	◎	↓	
		小6国語Bの平均点	58.0	68.7	57.6	58.0	56.0	○	↓	
		小6算数Aの平均点	66.0	77.4	79.4	81.0	65.0	○	↓	
		小6算数Bの平均点	55.0	46.2	48.7	46.0	54.0	○	↑	
		中3国語Aの平均点	78.0	77.8	78.0	78.0	77.0	○	↓	
		中3国語Bの平均点	63.0	68.2	70.0	72.0	62.0	○	↓	
		中3数学Aの平均点	70.0	67.5	64.7	69.0	66.0	○	↓	
中3数学Bの平均点	51.0	44.5	48.3	51.0	47.0	△	↓			
基本目標Ⅲ（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）	施策	KPI・指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	総括
				2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)		
	1. 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現									
	①出逢いの場の創出による20代における婚姻数の増加	婚姻数	各年度180件	205件	205件	171件	173件	×	↓	●婚姻数の増加、出生数の増加を目的とした事業を実施してきた。
	②地域の応援・支援による未婚率の低減	おせっかいさんによる引き合わせ件数	各年度100件	0件	13件	27件	22件	△	↓	
	③人生設計を考える機会の増加	人生設計を考えている若者の割合	各年度H27超8.4%超	8.4%	11.7%	9.5%	34.1%	◎	↑	
	2. 妊娠・出産に関わる負担の軽減									
	①安心して出産できる環境の整備	市内分娩施設数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	◎	→	●ただし、市全体としての出生数及び婚姻数の減少が抑制されたとは言い難い状況にあることから、施策の内容について再度検討する必要がある。
	②家族が望む出産につながる不妊治療等に対する経済的・精神的負担の軽減	不妊治療助成の利用件数（実数）	各年度H27超53件	35件	47件	44件	31件	×	↓	
	③妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の推進	出産前後の相談件数	各年度H27超577件	577件	566件	522件	675件	◎	↑	
	3. 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感ぜられる社会の実現									
	①子育てや教育に関わる経済的・精神的負担の軽減	子育てや教育に不安を感じたとき身近に相談する人がいる子育て世代の割合	各年度H27超48.3%	48.3%	42.5%	42.0%	34.9%	×	↓	●婚姻数、出生数ともに減少傾向にあり、有効な施策を打てたとは言い難い。
	②子どもの生きる力を育成する魅力のある保育・教育の充実	両親等と学校での出来事の話、学校へ行くのが楽しいと回答する割合	各年度85.0%	81.9%	83.5%	85.9%	調査なし	—	↑	
	②子どもの生きる力を育成する魅力のある保育・教育の充実	児童生徒質問紙調査のうち、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をすると回答した児童・生徒の割合（参考）」	各年度85.0%	80.1%	80.3%	79.9%	78.9%	×	↓	
③子育てと両立するワークライフバランス推進	夫の家事や育児参加に満足している妻の割合	各年度H27超16.8%	16.8%	16.7%	24.5%	15.8%	×	↓		
④子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備	子どもが安心して遊んだり、学べる環境だと思う子育て世代の割合	各年度H27超14.2%	14.2%	12.3%	16.4%	16.3%	◎	↑		
15の観点	成果指標	指標	目標年度	戦略年度				進捗状況	トレンド	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)			
15の観点	⑥子育ての魅力で氷見市に引越す方を増やす	子育てを事由とした転入数（補正後）	54人	—	42人	20人	42人	×	↑	●婚姻数、出生数ともに減少傾向にあり、有効な施策を打てたとは言い難い。
	⑬婚姻数を増やす	婚姻数（4月～3月）	180件	205件	205件	171件	173件	×	↓	
	⑭出生数を増やす	出生数（4月～3月）	283人	238人	239人	225人	216人	×	↓	

*達成状況の評価について

◎・・・現状で目標を上回ったもの

△・・・現状で目標に対する進捗率が50%未満のもの

○・・・現状で目標に対する進捗率が50%以上のもの

×・・・現状で改善が見られないもの

	重点施策	KPI	目標年度	戦略年度			進捗状況	トレンド	総括	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)				2018(H30)
基本目標Ⅳ (時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)	1 病気の早期発見、早期対策	特定健診受診率	46.3%	46.3%	45.7%	46.9%	45.9%	×	→	●重点施策については、多岐にわたっており、すぐに効果が表れにくいものが多い。しかしながら、人口減少社会の中でコミュニティなどを持続可能なものにしていくには、今後も継続して粘り強く行う必要がある。
		特定健診の結果メタボリックシンドローム非該当であった人の割合	77.1%	77.1%	79.4%	78.5%	78.5%	◎	→	
	2 地域における安心の提供	市民アンケート調査の結果、「将来、あるいは現在、病気や介護が必要になったときに地域に頼れる人がいますか」という設問に対し、当てはまると回答した人の割合	25.3%	25.3%	19.1%	27.0%	28.6%	◎	↑	
	3 各種協働策の推進	市内21地区における地域づくり協議会の数	21団体	5団体	5団体	6団体	7団体	△	↑	
	4 自治機能の代替	コミュニティビジネスの創業支援等補助件数	12件	0件	1件	3件	4件	△	↑	
施策	施策	KPI・指標	目標年度	戦略年度			進捗状況	トレンド	総括	
			2019(R1)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)				2018(H30)
	1. 地域に住み続けるための健康的自立									
	①各種検査、検診の充実による早期発見	検査・健診の受診率	各年度 H27超 46.3%	46.3%	45.7%	46.9%	45.9%	×	↓	●全体的に、即効性のある事業が少ないため、目標を達成できていない。今後も継続して行う必要がある。 ●健康寿命を延伸するための事業を行っているが、成果があまり見られていない。
	②高齢世代の活動充実と生きがいの創出	生きがいや楽しみがある高齢者の割合	各年度 H27超 27.7%	27.7%	26.6%	26.1%	24.2%	×	↓	
	③未病（病気ではないが、健康でもない状態）対策	メタボリックシンドロームに関する検査値が正常な人の割合	各年度 H27超 77.1%	77.1%	79.4%	78.5%	78.5%	◎	→	
	2. おらっチャ創生（各地域・各団体等による各々の地方創生の推進）による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立									
	①個人々の夢や希望の支援	ドリームプラン・プレゼンテーション等において夢を叶えられた人の数	-	8人	7人	-	-	-	→	
	②考え、行動する自治会の支援	おらっチャ創生やクリエイト・マイ・タウン事業等の市民提案型事業を実施する自治会等の数	最終年度 20団体	3団体	13団体	12団体	10団体	△	↓	
	③各種業界・団体の地方創生支援	おらっチャ創生に取り組む団体数	10団体	3団体	9団体	7団体	6団体	△	↓	
	3. 暮らし続けられる地域社会を実現する 都市空間設計									
	①市の公共施設・空き家の有効活用	空き家バンク登録数	20棟	26棟	25棟	25棟	25棟	◎	→	
	②集落における拠点施設（コミュニティ施設）の整備	地域づくり協議会ごとの拠点整備の支援数	協議会ごと 1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	×	→	
	③地域包括ケアシステムの構築	病気や介護が必要になったときに地域に頼れる人がいると思う市民の割合	各年度 H27超 25.3%	25.3%	19.1%	27.0%	28.6%	◎	↑	
	④地域づくり協議会の構築と支援	地域づくり協議会設置数（準備会含）	最終年度 21団体	5団体	5団体	6団体	7団体	△	↑	
	⑤集落構造に応じた交通手段の開発と支援	市内のどこかへ移動したいときに、適切な公共交通手段が整備されていると思う市民の割合	各年度 H27超 7.8%	7.8%	5.0%	5.9%	8.0%	◎	↑	
	4. 未来共創型の自治体経営モデルの構築									
	①対話と共創による地域づくり	対話と共創の場に参加している市民の割合	各年度 H27超 2.8%	2.8%	1.8%	3.3%	3.0%	◎	↓	
	②数値等の根拠に基づく政策の実施と検証体制の構築	市役所内における数値等の根拠に基づく検証の実施	各年度 12回	0回	4回	1回	1回	△	→	
	③自治体連携の推進（広域連携・テーマ連携など）	他の自治体との連携件数	各年度 H27超 4件	4件	5件	5件	5件	◎	→	
④ぶり（回遊・出世）型の地域人材育成	他組織との職員交流数	各年度 H27超 5人	5人	5人	2人	2人	×	→		
⑤企業・大学等との共有価値の創造(CSV)	企業・大学等との連携プロジェクト実施件数	各年度 H27超 9件	9件	12件	15件	17件	◎	↑		
15の観点	成果指標	指標	目標年度	戦略年度			進捗状況	トレンド	総括	
			2019	2015	2016	2017				2018
	⑧長生きする＆健康寿命を延ばす	65歳以上の要支援・要介護率	18.0%	18.0%	18.7%	18.5%	19.4%	×	↓	●健康寿命の延伸を目的として様々な取り組みを行っているが、明確な効果が出ていない。